

マレーシア 活動記録

記録日：平成 28 年 3 月 2 日

記録者：大川航洋

I. 活動時間

- 7:30~ホテル出発
- 8:30 実習費用支払い手続き
- 9:00 午前・見学実習開始
- 12:00 昼食
- 14:00 午後・見学実習開始
- 17:00 一日目見学実習終了
- 19:00 夕食（鶏肉料理）
- 20:00 解散（各自自室へ）

II. 活動内容

今日の午前中に、PT 学生は OT、OT 学生は PT の治療場面を見学した。OT 学生である私は実習でも理学療法室での治療を見学した経験が無い為、治療場面はとても新鮮な空間であった。発達領域や中枢神経系疾患など 6 部屋で行われている様々な理学療法を見学したが、その中でも印象深かったものは、水治療法室である。下写真は水治療法を行うプールであり、私たちは間近で設備を見学することができた。職員の話



によれば、タンクなどの設備も 20 年ほど前から使われている物で、近隣の施設の中で、当時の設備を使用しているのはこの病院くらいであるとのことだった。また、プールの水は週に 1 度入れ替えをする上に、消毒用の薬品も使用するために費用がとてもかかると話していた。また、1 回の介入は 30 分で、PT1 人に対して患者 2~3 人を同時に治療するが、リスクの高い患者を相手にする場合は 1 対 1 で行うこともあるとのことであった。その後 11:30 からは聴覚のリハビリテーションを行う Audiology Unit の見学を行った。

午後は発声や摂食嚥下のリハビリテーションなどを行う Speech Unit の見学を行った。Audiology と Speech は日本では言語聴覚士として 1 つの資格であるが、マレーシアには上記 2 種類があることを知った。それぞれの部屋の雰囲気はとても異なるもので、Audiology Unit では検査を中心としたものであったが、Speech Unit では小児の治療に力を入れており、大量のおもちゃが部屋の中にあった。

最後に義肢装具の見学とスプリント製作体験をさせて頂いた。この場面では義肢装

具学で既に履修済みの内容であり、かつ、講義の中でスプリントを作成した経験があるため、日本で学んだ内容とこちらのやり方との違いを比較することができた、

ホテルでの朝食は毎朝バイキング方式で食べるものである。マレーシア料理が下写真のように並べられている。サラダはマレーシア料理独特のスパイスなど使用しないため、食べやすい。また飲み物の種類も様々あるので、自分の好みに応じたものを選ぶことができる。

